

東京合唱団 次回演奏会

東日本大震災追悼チャリティコンサート 「鎮魂と復興への祈り」

2012年3月11日（日）午後2時30分開演

上野学園石橋メモリアルホール

曲目：G.フォーレ「レクイエム・ニ短調 作品48」

番場俊之「正岡子規の短歌による『夏の歌』

『無常の歌』（以上本邦初演）『星の歌』」

指揮：前田幸康

共演：台東区合唱連盟加盟合唱団有志

上野学園大学学生有志

学習院OB合唱団有志

東京大学音楽部OB合唱団アカデミカコール有志 ほか

ソリスト：針生美智子(ソプラノ)原田圭(バリトン)

ハープ：吉野直子 パイプオルガン：小林英之

管弦楽：東日本大震災メモリアル管弦楽団

定期演奏会

2012年12月15日（日）午後2時開演

紀尾井ホール

曲目：シャルパンティエ「真夜中のミサ曲」

モーツァルト「ミサ曲ハ短調 K427」

指揮：前田幸康

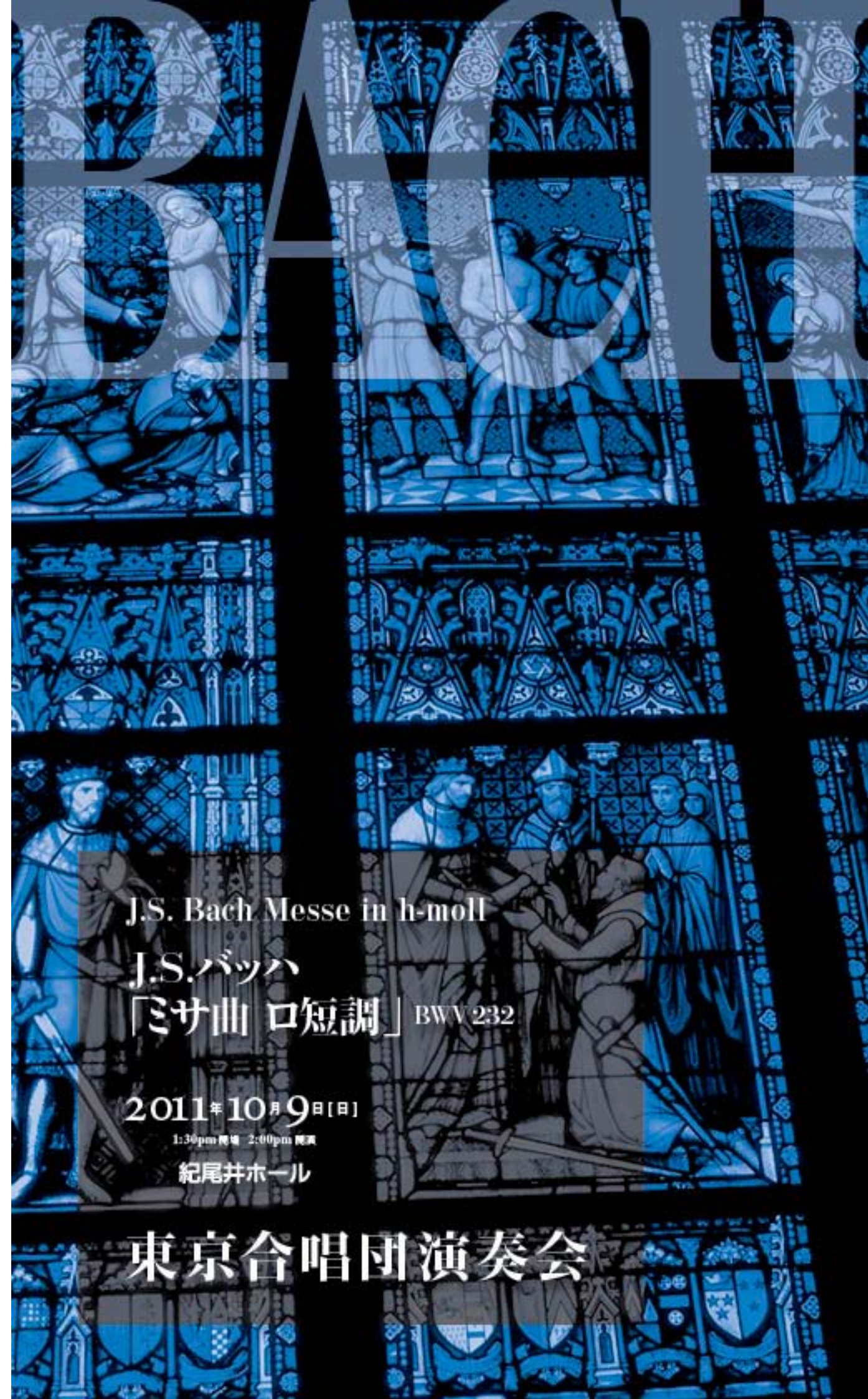
共演：学習院OB混声合唱団

管弦楽：東京KMG管弦楽団

参加者を募集しております

ご連絡は TEL&FAX 03-5803-7620 上野まで

ホームページ <http://tokyo-gasshodan.com/>



J.S. Bach Messe in h-moll

J.S.バッハ
「ミサ曲 ハ短調」 BWV 232

2011年10月9日[日]

1:30pm 開場 2:00pm 開演

紀尾井ホール

東京合唱団演奏会

ご挨拶

本日は皆様お忙しい中、私ども東京合唱団の演奏会にご来場いただきまして誠にありがとうございます。本日演奏いたしますのは、J. S. バッハの「ミサ曲 口短調」BWV 232です。今年の1月にニューヨーク・タイムズに、「クラシック音楽史上最も優れた作曲家10人を選ぶ」という非常に野心的な特集がありました。ベートーベン、モーツァルト、シューベルト、ヴェルディ、ワーグナーなど著名な作曲家が選ばれましたが、10人の中で最大の作曲家としてトップに挙げられたのが、J. S. バッハでした。クラシック音楽の礎を築き、数多くの名曲を残し、後世の音楽家に計り知れない影響力を与えた巨匠であり、作品が今なおクラシック音楽家だけでなくジャズ・ミュージシャンにも好んで演奏されることから、この選択には同意される方が多いと思います。

「ミサ曲 口短調」はそのバッハの最高傑作の一つとされています。東京合唱団は、音楽監督前田幸康先生の指導の下、練習を積み重ねて参りました。皆様をお迎えして、この世紀の名作をご披露できることは私ども団員にとってこの上ない喜びです。どうかごゆっくり午後のひとときをお楽しみください。

さて、3月11日の東日本大震災は想像を絶する災禍をもたらしました。物的な被害もさることながら、この大震災は大きな心の痛手をもたらしました。3月11日をもって、私たちの心のあり方が劇的に変わってしまったとさえ言えます。東京合唱団では、被災された皆様の一日も早い平安の日々と復興を願って、来年3月11日（日）大震災1周年のその日に、追悼チャリティ・コンサート「鎮魂と復興への祈り」を上野学園石橋メモリアルホールで開催することにしました。曲目は、フォーレ作曲「レクイエム ニ短調」と、番場俊之作曲「正岡子規の短歌による夏の歌、無常の歌（以上本邦初演）、星の歌」の2曲です。どうかこの演奏会にお越しいただき、「鎮魂と復興への祈り」を共有していただければと思います。また、この演奏会に賛同いただき、一緒に歌っていただける方も募集しておりますのでご連絡をお待ちしております。なお、来年12月15日（土）には紀尾井ホールで定例の演奏会も開催いたします。こちらにもぜひお出でいただければ幸いです。

最後になりましたが、本日の演奏会開催にあたり「前田幸康サポータークラブ」並びに「学習院OB混声合唱団」より多大なご支援、ご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

東京合唱団団長 上野 紘機

J.S. Bach Messe in h-moll

J.S. バッハ
「ミサ曲 口短調」BWV 232

第一部

MISSA ミサ

休憩

第二部

SYMBOLUM NICENUM ニケーア信経

SANCTUS 感謝の賛歌

OSANNA オサンナ

BENEDICTUS ベネディクトゥス

AGUNUS DEI アニュス・デイ

DONA NOBIS PACEM ドナ・ノビス・パーチェム

独 唱 ○ソプラノⅠ 平松 英子

○ソプラノⅡ 寺谷 千枝子
ア ル ト

○テノール 兎東 康雄

○バ ス 近野 賢一

オルガン ○ 小林 英之

指 揮 ○ 前田 幸康

合 唱 ○ 東京合唱団

学習院OB混声合唱団

管 弦 楽 ○ 東京 KMG 管弦楽団



Yukiyasu MAEDA Director & Conductor

前田 幸康 (指揮)

国立音楽大学卒業。チェロを故小沢弘、故黒沼俊夫、小野崎純の各氏に師事。N響、日フィル等のオーケストラでフリーのチェリストとして活躍し、東京ゾリステン等の室内楽にも力を注ぐ。現神奈川フィルハーモニー交響楽団の前身であるロリエ管弦楽団を故金子登、故前田幸市郎と設立し、初代チェロ第一首席奏者を務める。

1973年に渡欧し、Prof.マルティン・オースタータークに師事。1974年1月よりフライブルク市立交響楽団のメンバーとなる。故前田幸市郎から指揮の指導を受け、1990年以来、日本において活動をしている。W.A.モーツァルト「レクイエム」、J.G.L.モーツァルト「ミサソレムニス」(日本初演)、グラウンのオラトリオ「イエスの死」(日本初演)、ブラームス「ドイツレクイエム」、J.S.バッハ「ミサ曲口短調」「ヨハネ受難曲」、フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「パウロ」等を東京合唱団の音楽監督として指揮する。1985年よりプロアルテ・カンマー・オーケストラ・フライブルクの首席チェロを務めた。同年にまたフライブルク市よりカンマームジーカーの称号を贈られ、1989年には外国人としては最高の功労賞メダルを同市より授与された。上野学園大学教授。



Eiko HIRAMATSU Soprano

平松 英子 (ソプラノ)

東京藝術大学、同大学院修了。ドイツ学術交流会奨学生(DAAD)としてミュンヘン音楽大学に留学。マイスタークラス在学中にバッハ・コレギウム・ミュンヘンのJ.S.バッハ「ヨハネ受難曲」でデビュー。修了後、西ドイツの複数の劇場と契約しモーツァルトの歌劇「魔笛」のパミーナ役でオペラデビュー。また宗教曲のソリストとしても、ヘルマン・プライやベーター・シュライヤー、エディット・マテイスなどと共演、高い評価を獲得する。そして11年間ドイツにて活動後、歌劇「魔弾の射手」エンヒェン役で帰国デビュー。以来拠点を日本に移し、オペラからオラトリオ、歌曲まで幅広く活躍。その柔軟な音楽性は、日本を代表するリリック・ソプラノとして、今は亡き巨匠ジュゼッペ・シノーポリをはじめ国内外の多くの指揮者の賞賛の的となっている。東京藝術大学准教授、フェリス女学院大学非常勤講師。ジロー・オペラ新人賞受賞。



Chieko Teratani Mezzo-Soprano

寺谷 千枝子 (メゾ・ソプラノ)

東京芸術大学卒、同大学院終了。ハンブルク国立音楽大学声楽科、オペラ科共に首席で卒業。在学中メスフィールド賞を受賞。オランダのセルトヘンボス国際声楽コンクール第2位入賞。ドイツのプレーマー・ハーフェン歌劇場とソロ専属契約を結び、「ばらの騎士」のオクタヴィアンでデビュー。以来ボン歌劇場、ハンブルク国立歌劇場などドイツを中心にヨーロッパ各地で活躍。また世界的ブームとなったポーランドの作曲家グレッキの交響曲第3番「悲歌のシンフォニー」をドイツ、アメリカ、オランダ、日本で初演。日本でも、サンティ、フルネ、インバル、デュトワ、レナルト、コルボ、チョン、小澤征爾、若杉弘、大野和士等の著名指揮者のもと数々のステージに迎えられ、ヨーロッパでの名声を裏付ける実力を披露。「危なげなく磨かれた声」、「信頼性の高い表現」等その役作りと音楽の読みの的確さ、安定した歌唱は常に高い評価と信頼を得ている。東京芸術大学教授。



Yasuo UZUKA Tenor

兎東 康雄 (テノール)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。東京文化会館主催新進音楽家オーディション合格。1998年から2000年までバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして多くの宗教曲の演奏会をはじめ録音に参加する。2002年より2年間イタリア・モデナへ留学。2003年イタリア・フィレンツェに於いてフィレンツェ五月祭のコンサートに出演。これまでにヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェンの「第九」、シオスタコヴィッチ「森の歌」、バッハ「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」福音史家、数々の宗教曲に於けるソリスト、オペラではモーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」フェランド、ロッシーニ《絹のはしご》ドルヴィル、ドニゼッティ《ドン・パスクアレ》エルネスト、プッチーニ《ラ・ボエーム》ロドルフォ、2008年絨緞座公演ではマリピエロ《偽のアルレッキーノ》カピターノ役を演ずる。ジョイント・コンサートや様々なコンサートに出演し活動の幅を広げている。現在、上野学園大学及び短期大学部講師、長野県小諸高等学校音楽科講師。



Kenichi KONNO Baritone

近野 賢一 (バス)

北海道出身。新潟大学、京都市立芸術大学大学院を経て、フライブルク音大リート・オラトリオ科及びオペラ科卒業。国内外で『メサイア』『第九』『パウロ』『聖チェチーリアミサ』『ヨハネ受難曲』『マタイ受難曲』にソリストとして出演する他、リーダー・イベントも意欲的に行っている。岡原慎也氏との歌曲リサイタルに対して青山音楽賞新人賞を受賞。友愛リートコンクール第三位、併せて日本歌曲賞受賞。JSG 国際シューベルト歌曲コンクール第三位、ポーランドでの第17回バツェヴィッチ記念国際室内楽コンクールリート部門第三位。これまでに、声楽を箕輪久夫、宇野徹哉、福島明也、マルクス・ゴリツキ各氏に師事。T.クヴァストフ、R.トレケル、D.ヘンシェル、W.リーガー、R.ヤーコプスらの講習会受講。2010年よりミュンヘン音大大学院リート科に在学、ヘルムート・ドイチュ、ドナルド・ズルツェン両氏に師事している。ミュンヘン在住。



Hideyuki KOBAYASHI Organ

小林 英之 (オルガン)

東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院修了。ドイツ、フランクフルト音楽大学卒業。各地での独奏会のほか、アンサンブルへの参加も多い。オーケストラでオルガン・パートを担当し、神奈川フィル、アンサンブル金沢、東京シティフィル、N響、新日フィル、東京都響の定期演奏会には、ソリストとして出演。また、各地のホールでオルガン関連事業の企画を担当するほか、中学生、高校生あるいは一般愛好家を対象としたオルガンに関する啓発活動も積極的に行っている。上野学園大学教授。

http://japanclassic.com/artists/f015/hideyuki_kobayashi.html

東京 KMG 管弦楽団

東京合唱団の創設者、故前田幸市郎氏により1982年にKMG合奏団として組織された。東京近郊の第一線クラスのソリストにより結成され、名人芸的なアンサンブルを醸し出す。特にバロック音楽では高い水準を維持している。

「ミサ曲 口短調」 (Messe in h-moll) BWV 232 について

「ミサ曲 口短調」は、ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750) の最高傑作の一つであるばかりでなく、あらゆる宗教音楽の最高峰の一つとされています。その一部は1724年に書かれており、バッハが最終的にこの曲を完成させたのは死の前年の1749年です。全体が2,300小節以上で構成されており、演奏に約2時間かかるという長大さでもあります。

バッハは自らこの曲を4部に分けています。すなわち、

第1部 キリエ

第2部 グローリア

第3部 クレド (ニケーア信経)

第4部 サンクトゥス／オザンナ／ベネディクトゥス／アニュス・デイ／ドナ・ノビス・パーチェム

第1部のキリエと第2部のグローリアは、1733年に作曲されそのパート譜がその年ザクセン選帝侯フリードリヒ・アウグスト2世に献上されています。献上の目的に「宮廷作曲家」の称号を得ることがあったと言われています。キリエは「キリエ・エレイソン (主よ、憐れみたまえ)」と「クリステ・エレイソン (キリストよ、憐れみたまえ)」の繰り返しですが、壮大なフーガです。グローリアは合唱・独唱・管弦楽が交じり合い、輝きと陰影が美しく表現されます。

第3部のクレド (ニケーア信経) は「ミサ曲 口短調」の中核をなす部分です。ニケーア信経 (Symbolum Nicenum) は、三位一体の信仰を宣言するものでキリスト教徒にとって非常に重要な部分です。第3部は9曲に分かれており、3曲ずつの塊で構成されています。中でも第4曲から第6曲までがキリストの「降誕」「受難」「復活」をあらわすもので、「ミサ曲 口短調」のエッセンスともいえるでしょう。この部分は合唱が歌います。また、このクレドは第5曲の「受難」、すなわち「十字架につけられ (クルーチフィクスス、Crucifixus)」を中心に、シンメトリカルな構造に作られており、その精緻な構造と躍動する音楽はただ驚くばかりです。

第4部のうち、サンクトゥスはもっとも早く1724年に作曲されています。オザンナはダブル・コーラスで神への賛美を歌います。ベネディクトゥスはフルートの独奏を伴うテノールの独唱、アニュス・デイ (神の子羊) はアルトの独唱です。最後のドナ・ノビス・パーチェム (われらに平和を与えたまえ) は、グローリアの「主の大いなる栄光ゆえに (Gratias agimus tibi)」の音楽を繰り返すもので、平和への祈念を歌いつつ終曲となります。

東京合唱団では、「ミサ曲 口短調」を1975年12月に故前田幸市郎先生の指揮で演奏しました。また、現在の音楽監督である前田幸康先生の指揮で2002年8月にも演奏しています。

(テノール 上野紘機)

バッハへの旅—ライブツィヒへ

私とバッハの出会いを回想してみたい。確か中学校の音楽室に絵があったと思います。「音楽の父」と称して、「パーマ」をかけた？肖像画がありました。他にもヘンデルやベートーベンなどもあり学生たちを見降ろしていました。印象としては何か変な人たちで、作曲家はいかめしい、むつかしい顔をした人たちでいつも悩んでいるというもので、決して好きになれるような存在ではなかったと思います。「バロック」「古典派」という言葉も添えられており、そのころの音楽の授業は変声期ということもあり、ヒイコラ声を出しながら歌わされたのでたまらない、舟木一夫の方がよいというものでした。決して歌はきらいにはなりませんでしたが・・・。

次に時代は進んで大学で男声合唱団に入って、いろいろな先輩たちから感化を受けたころです。当時はレコードを集め始め、宗教曲を中心に蒐集し、アルヒーフ盤で、カール・リヒター指揮ミュンヘン・バッハによる「ミサ曲口短調」を手に入れました。LP4枚組でした。ソリストにはフィッシャー・ディスカウも名を連ねています。これが今回も歌う「ミサ曲口短調」との出会いでした。出だしの「キリエ」に大きな衝撃を受けたように思います。その後、バッハはジャズアレンジを楽しむ方で、軽いものの方が好みだったような気がします。

そこで東京合唱団との出会いです。2001年にOB男声合唱団に誘いがあってブラームス「ドイツ・レクイエム」を歌い、次の年に無謀？にもバッハ「ミサ曲口短調」に挑戦しました。この時は無我夢中のうちに練習を過ごし、不安たっぷりで演奏会に臨みました。何も知らない身には冷や汗ものでしたが結果は成功。バッハの魅力にとりつかれ、いくつか大曲に参加するようになりました。東京合唱団では「ヨハネ受難曲」も歌いました。

2007年には「クリスマス・オラトリオ」を歌う機会があり、その12月にはバッハが活躍したライブツィヒにも出かけました。東京・横浜で演奏会に参加したメンバーから有志で聖ニコライ教会でのクリスマス演奏会に混じって歌うというものでした。現地の合唱団のドイツ語の中で音楽の渦につつまれる体験は格別でした。その話は別の機会に譲るとして、クリスマス市も楽しんだライブツィヒの印象を紹介します。

ライブツィヒにはバッハゆかりの教会が2つあります。聖トーマス教会と聖ニコライ教会です。バッハは聖トーマス教会のカントル (音楽監督?) をしていたので、お墓もここに 있습니다。演奏会は聖ニコライ教会でも行いました。2つの教会を行き来しつつ忙しい日々を過ごしたようです。

聖トーマス教会の前には「バッハの像」があり、それと向かい合うように「バッハ・ミュージアム」があります。バッハ像の写真は今回のチラシにも使われていますが興味あるものです。ズボンのポケッ



聖ニコライ教会



聖トーマス教会

トの中を見せて「お金はないよ」と金銭にまつわる苦勞を暗示しているとか？結構、地位や名譽、お金にこだわる俗物だったとか？この「ミサ曲口短調」にまつわる話もあるようです。でもその俗物的なところも魅力の一つではないでしょうか。音楽室でいかめしくおさまっている肖像画よりはずっとよいと思います。人間味あふれるバッハの方が、その崇高な音楽との対比でよいと言うと、熱狂的のバッハファンにはお叱りをうけるかも、ご容赦あれ。

バッハ・ミュージアムにはバッハゆかりの品々があります。自筆の楽譜も展示されています。それを見ると4連符が踊っているように見えるし、事実クリスマス・オラトリオも現地では楽しさにあふれた踊るような演奏で、きっと当時の聴衆も感動したのではないかと思います。楽譜も一つの絵や模様としてみるのもよいかも知れません。



聖トーマス教会前のバッハの銅像



聖トーマス教会内のバッハの墓



バッハ・ミュージアム

あれこれといろいろなことを思い出しながら書いていますが、ライプツィヒは現代でも重要な都市です。かのベルリンの壁崩壊、東ドイツの民衆の平和的動きの始ったところとして有名です。1989年10月9日に「ライプツィヒの行進」がありました。自由を求める民衆は聖ニコライ教会に集まり、ライプツィヒ市内を一周する行進を行います。ゲバントハウス管弦楽団の指揮者クルト・マズアがラジオで冷静さを呼び掛けたことも素晴らしいエピソードです。音楽を愛する市民の誇りがあります。バッハそしてメンデルスゾーン（バッハ「マタイ受難曲」の再演に尽力）の活躍した街、リヒャルト・ワーグナーの生まれ育った街、そこを訪れるきっかけとなったバッハに感謝・感激です。皆さんもぜひ音楽と自由の街を訪れてみてください。冬も音楽会あり、クリスマス市ありでよいですよ。そして今日は「ミサ曲口短調」をお楽しみください。

(テノール 富松太基)



1989年10月9日の記念プレート(聖ニコライ教会前)



旧市庁舎前のクリスマス市

MISSA (ミサ)

I Kyrie あわれみの賛歌

第1曲(五声合唱)

Kyrie eleison. 主よ、あわれみたまえ。

第2曲(ソプラノ I・II 二重唱)

Christe eleison. キリストよ、あわれみたまえ

第3曲(四声合唱)

Kyrie eleison. 主よ、あわれみたまえ。

II Gloria 栄光の賛歌

第4曲(五声合唱)

Gloria in excelsis Deo. 天のいと高きところには、神に栄光、

第5曲(五声合唱)

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis. 地には善意の人に平和あれ。

第6曲(ソプラノ II・ソロ)

Laudamus te. Benedicimus te. われら主をほめ、主をたたえ、
Adoramus te. Glorificamus te. 主をおがみ、主をあがめ、

第7曲(四声合唱)

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam. 主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

第8曲(ソプラノ I・テノール二重唱)

Domine deus, rex caelestis, deus pater omnipotens. 神なる主、天の王、全能の父なる神よ。
Domine fili unigenite, Jesu Christe altissime*1. 主なる御ひとり子、いと高きイエズス・キリストよ。
Domine deus, agnus dei, filius patris. 神なる主、神の子羊、父のみ子よ。

第9曲(四声合唱)

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis. 世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。
Qui tollis peccata mundi, 世の罪を除きたもう主よ、
suscipe deprecationem nostram. われらの願いをききいれたまえ。

第10曲(アルト・ソロ)

Qui sedes ad dexteram patris, miserere nobis. 父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

第11曲(バス・ソロ)

Quoniam tu solus sanctus, Tu solus dominus. 主のみ聖なり、主のみ王なり、
Tu solus altissimus, Jesu Christe. 主のみいと高し、イエズス・キリストよ。

第12曲(五声合唱)

Cum Sancto spiritu, in gloria dei patris, 聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。
Amen. アーメン。

III SYMBOLUM NICENUM (ニケーア信経)

<p style="text-align: center;">Credo 第 13 曲 (五声合唱) Credo in unum deum,</p> <p style="text-align: center;">第 14 曲 (四声合唱) Credo in unum deum, patrem omnipotentem. Factorem caeli et terrae, visibilium omnium et invisibilium,</p> <p style="text-align: center;">第 15 曲 (ソプラノ I・アルト二重唱) Et in unum dominum. Jesum Christum filium dei unigenitum. Et ex patre natum ante omnia saecula. Deum de deo, lumen de lumine, deum verum de deo vero. Genitum, non factum, consubstantialem patri: per quem omnia facta sunt. Qui propter nos homines, et propter nostram salutem descendit de caelis.</p> <p style="text-align: center;">第 16 曲 (五声合唱) Et incarnatus est de spiritu sancto ex Maria virgine: et homo factus est.</p> <p style="text-align: center;">第 17 曲 (四声合唱) Crucifixus etiam pro nobis sub Pontio Pilato: passus, et sepultus est.</p> <p style="text-align: center;">第 18 曲 (五声合唱) Et resurrexit tertia die, secundum scripturas. Et ascendit in caelum: sedet ad dexteram patris. Et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos: cujus regni non erit finis.</p> <p style="text-align: center;">第 19 曲 (バス・ソロ) Et in spiritum sancutum dominum, et vivificantem: qui ex patre, filioque procedit. Qui cum patre, et filio simul adoratur, et conglorificatur: qui locutus est per prophetas. Et unam, sanctam, catholicam et apostolicam ecclesiam.</p>	<p>信仰宣言</p> <p>われは信ず、唯一の神、</p> <p>われは信ず、唯一の神、 全能の父を。 天と地、見ゆるもの、見えざるものすべての造り主を。</p> <p>われは信ず、唯一の神、 神の御ひとり子、イエズス・キリストを。 主はよろず世より先に、父より生れ、 神よりの神、光よりの光、 まことの神よりのまことの神、 造られずして生まれ、 父と一体となり、すべては主により造られたり、 主は、われら人類のため、われらの救いのために、 天より下り</p> <p>聖霊によりて、処女マリアよりおんからだをうけ、 人となりたまえり。</p> <p>ポンシオ・ピラトの下にて、 われらのために十字架につけられ、 苦しみをうけ、葬られたまえり。</p> <p>聖書にありしごとく、三日目によみがえり、 天にのぼりて、父の右に座したもう。 主は、栄光のうちに再び来たり、 生ける人と死せる人とを裁きたもう、 主の国は終ることなし。</p> <p>われは信ず、主なる聖霊、生命の与えぬしを、 聖霊は、父と子よりいで、 父と子とともに、拝みあがめられ、 また預言者によりて語りたまえり、 われは、一にして聖、普遍の 使徒継承の教会を信ず。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p style="text-align: center;">第 20 曲 (五声合唱) Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.</p> <p style="text-align: center;">第 21 曲 (五声合唱) Et exspecto resurrectionem mortuorum. Et vitam venturi saeculi. Amen.</p>	<p>罪の赦しのためなる唯一の洗礼をみとめ、</p> <p>死者のよみがえりと、 来世の生命とを待ち望む。 アーメン。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

IV SANCTUS (感謝の賛歌)

OSANNA, BENEDICTUS, AGNUS DEI, DONA NOBIS PACEM
(オサンナ、ベネディクトゥス、アニュス・デイ、ドナ・ノビス・パーチェム)

<p style="text-align: center;">第 22 曲 (六声合唱) Sanctus, sanctus, sanctus, dominus deus sabaoth. pleni sunt caeli et terra gloria ejus*2.</p> <p style="text-align: center;">第 23 曲 (八声合唱) Osanna in excelsis.</p> <p style="text-align: center;">第 24 曲 (テノール・ソロ) Benedictus qui venit in nomine domini.</p> <p style="text-align: center;">第 23 曲 (繰り返し) Osanna in excelsis.</p> <p style="text-align: center;">Agnus Dei 第 25 曲 (アルト・ソロ) Agnus dei, qui tollis peccata mundi miserere nobis. Domine, non sum dignus ut intres sub tectum meum, sed tantum dic verbo, et sanabitur anima mea. Agnus dei, qui tollis peccata mundi</p> <p style="text-align: center;">第 26 曲 (四声合唱) Dona nobis pacem.</p>	<p>聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。 主の栄光は天地に満つ。</p> <p>天のいと高きところにオサンナ。</p> <p>ほむべきかな、主の名によりて来る者。</p> <p>天のいと高きところにオサンナ。</p> <p>平和の賛歌</p> <p>神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、 われらをあわれみたまえ。 主よ、我は汝を我が屋根の下に迎えまつるに足らぬものなり。 ただ、御言葉のみをたまえ、さらば我が魂は癒えん。 神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、 われらに平安を与えたまえ。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

*1 altissime は、ミサ通常式文にはない。

*2 gloria ejus は、ミサ通常式文では gloria tua 。

◆東京合唱団演奏会出演者

合唱：東京合唱団・学習院OB混声合唱団
指揮者：前田 幸康

ソプラノ I	ソプラノ II	アルト	テノール	バス
市井さゆり	稲垣 知子	板倉由美子	青田 正平	青木 修三
岩藤 喬子	今村 球子	恩藏 恵子	荒木 俊雅	荒川 昌夫
荻野 直美	漆山 令子	梶原 典子	上野 紘機	五十嵐 章
梶村 有美	岩端由美子	嶋澤 小織	梶川 浩	市井 善博
亀山 澄美	大塚恵美子	佐藤 京子	上島 敏	今西 健一
坂井田廣子	小笠原みどり	佐藤 容子	岸 柁文	岩永 裕二
竹田 貴子	河西 裕子	白井 悦子	笹村寛太郎	小川 尚夫
田上真由美	小池 直子	瀧来 佐穂	塩谷 隆英	葛西 英一
中川 悠子	仙波 京子	津賀 恵理	富松 太基	近藤 安雄
濱野奈津美	長 恭子	長岡亜里奈	永野 康雄	杉村 俊哉
宮下 咲恵	松田 和子	永澤麻衣子	松本 洋一	広畑 俊成
	吉野 美里	花形 由美	宮本 昭彦	沼田 盛也
		広瀬 容子	和田 一範	山口 和
		藤田 香織		山本 洋一
		山田 久子		吉岡 端也

◆東京 KMG 管弦楽団

第1ヴァイオリン	第2ヴァイオリン	ヴィオラ	チェロ	コントラバス
◎室谷 高廣	吉原 葉子	河合 訓子	松本 卓以	倉持 敦
荻野 照子	水村 浩司	原口 朝子	羽川 恵子	
徳井 えま	佐藤 明美	磯 晃男	井崎 瑛恵	
松岡 由佳	西本 徳子	光行 茜		
海保 あけみ		前田 利祐		

フルート	オーボエ	ファゴット	ホルン	トランペット
白尾 隆	小畑 善昭	前田 信吉	南 博之	神代 脩
小澤 恭子	金子 亜美	鹿野 智子		原田 照久
	戸田 智子			箕輪 綾子

ティンパニー	オルガン
藤本 隆文	小林 英之

◎はコンサートマスター

●東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1954.11.29	ヴェルディ レクイエム	柴田喜代子 川崎 静子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団・鎌倉コールと合同
1955.7.9	ベートーベン 交響曲第9番	柴田喜代子 岡部多喜子 柴田 睦陸 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団・鎌倉コールと合同
1955.12.17	ブラームス ドイツレクイエム	伊藤 京子 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.3.11	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 栗本 尊子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.7.11	フォーレ レクイエム	伊藤 京子 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.8.	ボロディン グッタン人の踊り		東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1957.4.3	メンデルスゾーン オラトリオ「エアリア」	三宅 春恵 松内 和子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1957.10.14	ベートーベン 交響曲第9番	柴田喜代子 川崎 静子 柴田 睦陸 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1957.11.24	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	大熊 文子 松内 和子 木下 保 大賀 典雄	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1957.12.1	クリスマスキャロル他		東京交響楽団 前田幸市郎	産経クリスマスライブ・キャンドルコンサート
1958.5	ブラームス ネーニエ ブラームス 運命の歌		東京交響楽団 前田幸市郎	第54回都民シンフォニー・コンサート
1958.8.28	ベートーベン 交響曲第9番	毛利 純子 池田智恵子 石井 昭彦 大橋 国一	東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1958.12.28	*ブルックナー ミサ曲第3番「大ミサ」	奥田智恵子 佐々木成子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1959.3.29	グノー ミサ・ソレムニス(抜粋)	稲畑 絢子 灰谷栄一郎 坂本慶之祐	オルガン：島田麗子 前田幸市郎	
1959.12.6	ベートーベン ミサ・ソレムニス	柴田喜代子 佐々木成子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1959.12.25	ベートーベン 交響曲第9番	三宅 春江 栗本 尊子 柴田 睦陸 石津 憲一	東京交響楽団 N.マルコ	TBS TV 出演
1960.5.19	ブラームス アルト・ラプソディ	別所 恵子	東京交響楽団 前田幸市郎	第70回都民シンフォニー・コンサート
1960.9.28	*ブルックナー ミサ曲第2番		東京交響楽団 前田幸市郎	宗教音楽研究会合唱団とジョイント
1960.12.10	ヴェルディ レクイエム	毛利 純子 川崎 静子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 A.ヤンソンス	東京交響楽団特別演奏会
1961.12.21	ブラームス ドイツレクイエム	伊藤 京子 中山 第一	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1962.6	フォーレ レクイエム	長 恭子 中村 俊一	オルガン：松本和子 前田幸市郎	
1962.12.4	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 戸田 敏子 森 敏孝 中山 第一	東京交響楽団 A.バウルミュラー	東京交響楽団定期及び特別演奏会
1962.12.23	*ブルックナー ミサ曲第1番	瀬山 詠子 中村 浩子 楠瀬 一途 芳野 靖夫	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1963.12.22	ベートーベン ミサ・ソレムニス	土屋 可愛 野崎 幸子 中村 博之 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	東京合唱団創立10周年記念 学習院合唱団と合同
1964.12.20	シューベルト ミサ曲第5番	真島 美弥 北村 幸子 下野 昇 池田 明良	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1965.5.31	中田喜直童謡集(混声)指揮：楠瀬一途 清水脩 毛銭の三つの詩(男声) クレッチェル イタリーのスケッチ(女声) 宗教歌曲集(男声) ロッシニー 信仰・愛・希望(女声) ブラームス 哀悼歌、運命の女神の歌(混声)		ピアノ：石川治子 長 恭子 前田幸市郎	第1回東京合唱団コンサート
1965.12.19	*ドヴォルザーク レクイエム	嵐野 もと 安居史恵子 田原祥一郎 持田 篤	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1966.5.16	信時潔作品集(混声) シューベルト ドイツミサ曲(男声) ブーランク 聖母マリアへの連祷他(女声) スコットランド民謡集(混声)		オルガン：島田麗子 ピアノ：石川 治子 前田幸市郎	第2回東京合唱団コンサート
1966.6.9	モーツァルト レクイエム	伊藤 京子 中村 浩子 村地 健 芳野 靖夫	東京交響楽団 A.ヤンソンス	東京交響楽団定演
1966.12.4	フォーレ レクイエム *シャルパンティエ	嵐野 もと 西山早智恵 真夜中のミサ曲 河瀬 柳史	東京交響楽団 矢野 恵子 芳野 靖夫 前田幸市郎	学習院合唱団と合同 オルガン：島田麗子
1967.4.3	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 長野羊奈子 藤沼 昭彦 高橋 修一	東京交響楽団 秋山 和慶	東京交響楽団定演(再建3周年記念)
1967.6.28	パッサ カンタータ第6,第131,第182番 モテット第3番	市丸 蒼生 板橋 勝 持田 篤	リディア室内合奏団 前田幸市郎 オルガン：島田麗子	第3回東京合唱団コンサート

●東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1967.8.	バッハ カンタータ第182番 モテット第3番		オルガン：植田義子 前田幸市郎 ピアノ：長基子	岡谷せせらぎ合唱団・オリンパス光学会合唱団とジョイント
1967.11.28	*M. デュルフレ レクイエム	中村 浩子 芳野 靖夫	ABC交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1968.5.20	ブルックナー コラール・ミサ他 ブルックナー モテット 5曲 バッハ カンタータ第80番	安田 祥子 市丸 蒼生 板橋 勝 築地利三郎	オルガン：島田麗子 前田幸市郎	第4回東京合唱団コンサート
1968.12.3 1968.12.5	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	井崎 洋子 斉藤恵美子 成田絵智子 栗林 義信 鈴木 寛一 梅原秀次郎	東京フィルハーモニー交響楽団 オルガン：島田麗子 前田幸市郎	藤原歌劇団創立35周年記念公演 学習院合唱団・藤原歌劇団合唱部と合同
1968.12.9.	ベートーベン 交響曲第9番	小池 容子 安居史恵子 砂川 稔 蔵田 裕行	東京交響楽団 ツデネク・コシユラー	東京交響楽団定演
1969.9.1	ブラームス ドイツレクイエム	中沢 桂 原田 茂生	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会 東京合唱団創立15周年記念
1969.12.5	ヴェルディ レクイエム	山口 和子 成田絵智子 J.ザンビエリ 田島 好一	東京フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱・藤原歌劇団合唱部と合同
1970.6.17	マーラー 交響曲第8番	大川 隆子 佐野 順子 中村 邦子 春日 成子 井原 直子 金谷 良三 吉江 忠男 佐藤藤一郎	日本フィルハーモニー交響楽団 小沢 征爾	日本フィルハーモニー交響楽団第203回定演出演 プロ合唱団連合 他共演
1971.9.25	バッハ カンタータ第131,140,182番	中村 邦子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 芳野 靖夫	ローリエ管弦楽団 前田幸市郎	
1971.12.15	ハイドン オラトリオ「四季」	中村 邦子 藤沼 昭彦 平野 忠彦	ローリエ管弦楽団 前田幸市郎	
1972.10.27	フォーレ レクイエム *グラー 聖セシリアの為のミサ・ソレムニス	中山早智恵 篠崎 義昭 芳野 靖夫	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 前田幸市郎	
1973.10.9	*リスト グランのパジリカ落成の為のミサ・ソレムニス	蘇我 栄子 石光佐千子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1973.12.20	*ベーム カンタータ第1, 第6, 第7, 第10番	沢田 祥子 末 芳枝 宮下 正 持田 篤	巖木真理弦楽四重奏団他 前田幸市郎 オルガン：島田麗子	東京合唱団教会コンサート
1974.10.18	バッハ マタイ受難曲	曾我 栄子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 持田 篤 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎	東京合唱団創立20周年記念 グロリア少年合唱団と合同
1975.5.23	ブルックナー コラール・ミサ ブルックナー モテット8曲		巖木真理弦楽四重奏団他 前田幸市郎 オルガン：島田麗子	東京合唱団教会コンサート
1975.12.10	バッハ ミサ曲口短調	中沢 桂 石光佐千子 藤沼 昭彦 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎	
1976.6.4	バッハ モテット第2, 第5, 第6番 ブラームス モテット作品29, 作品74		オルガン：植田義子 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート グロリア少年合唱団と合同
1976.11.22	バッハ ヨハネ受難曲	加藤 綾子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 持田 篤 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎 オルガン：島田麗子 チェンバロ：及川	
1977.5.24	バッハ モテット第3番 ブルックナー ミサ曲第2番		金石幸夫プラスアンサンプル 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート
1977.10.21	モーツァルト レクイエム	市川 倫子 菊池 洋子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1977.12.21	ベートーベン 交響曲第9番	常森 寿子 春日 成子 水沢 三郎 岡村 喬生	日本フィルハーモニー交響楽団 エルヴィン・ルカーチ	日本フィルハーモニー交響楽団定演出演
1978.6.15	ブルックナー ミサ曲第3番「大ミサ」	中沢 桂 菊池 洋子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1978.12.5	バッハ モテット第1番 G.ガブリエリ 「サクレ・シンフォニー」より		金石幸夫プラスアンサンプル 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート
1979.6.6	バッハ カンタータ第4, 第147番 G.ガブリエリ 「サクレ・シンフォニー」より	松井 洋子 郡 愛子 牧川 修 高橋 啓三	リディア室内合唱団 前田幸市郎	
1979.12.12	フォーレ レクイエム コダーイ ミサ・プレヴィス	田中 順子 田口 孝子 豊田喜代美 宗 孝夫 佐伯久美子 有川 文雄	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1979.12	コダーイ ミサ・プレヴィス クリスマス・コラール集より		オルガン：植田義子 前田幸市郎	ICUクリスマスコンサート
1980.9.17	ブラームス ドイツ・レクイエム ブラームス アルト・ラプソディー	常森 寿子 菊池 洋子 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	学習院OB合唱団、東京大学コール・アカデミーと共演
1980.11.24	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	井崎 洋子 塩崎 朋子 吉田 博久 玉木 豊	東京ソリスト 前田幸市郎	
1981.9.17	ブルックナー ミサ曲第2番 プレスコバルディ二重コーラスの為のミサ曲 デュルフレ グレゴリオ聖歌の主題による4つのモテット		オルガン：島田麗子 滝沢理子 前田幸市郎	東京合唱団第40回演奏会
1982.4.25	バッハ ヨハネ受難曲	永尾 和子 山岡 敦子 吉田 功 持田 篤 石黒 達朗	東京ソリスト オルガン：島田麗子 前田幸市郎	
1982.11.26	ハイドン 十字架上のキリストの最後の七つの言葉 ハイドン ミサ曲第9番(「ネルソン・ミサ」)	中沢 桂 山岡 敦子 阿部 純 宇佐見桂一	KMG合奏団 前田幸市郎	ハイドン生誕250周年記念

●東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1983.4.29	T.L. ヴィクトリア モテット ブルックナー ミサ曲第2番		金石幸夫プラスアンサンプル 前田幸市郎	
1983.12.11	モーツァルト レクイエム	永尾 和子 山岡 敦子 阿部 純 佐浦 国雄	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 前田幸市郎	ゴールデンコンサート
1984.7.8	モーツァルト ミサ曲ハ短調	常森 寿子 浅田 啓子 佐々木正利 真田 直規	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	合唱団「たかね」と合同
1984.10.26	ブルックナー モテット フォーレ レクイエム	加藤 綾子 宇佐見桂一	オルガン：佐藤みさ子 前田幸市郎	チャリティコンサート
1985.4.21	バッハ カンタータ第66, 第67, 第104, 第134番	菊池 洋子 佐々木正利 宇佐見桂一	KMG管弦楽団 前田幸市郎	J.S. バッハ生誕300年記念
1985.11.22	バッハ モテット第227, 第230番 カンタータ第4, 第56番	小池 哲郎	オルガン：植田義子 前田幸市郎	
1986.11.14	バッハ ヨハネ受難曲	常森 寿子 磯野 啓子 佐々木正利 宮下 正 小池 哲郎 宇佐見桂一 オケ中オルガン：池田泉 チェンバロ：伊澤長俊	KMG管弦楽団 前田幸市郎	東京合唱団第46回定期演奏会
1987.10.14	ブラームス 六つの歌曲とロマンス 三つの歌、愛の歌、二つのモテット		ピアノ：小沢さち 須江太郎 前田幸市郎	
1988.4.23	バッハ カンタータ第11番 バッハ 復活祭オラトリオ バッハ 昇天祭オラトリオ	常森 寿子 菊池 洋子 小松 英典 西垣 俊朗	KMG管弦楽団 前田幸市郎	
1997.8.30	バッハ ヨハネ受難曲	柳沢 亜紀 保多 由子 三山 洋賜 小原 浄二 久住庄一郎 水野 賢司	KMG管弦楽団 前田幸康	
1998.8.30	バッハ カンタータ第131番 モーツァルト フルートとハーブの為の協奏曲 フォーレ レクイエム	高橋 節子 大島 博 加賀 清孝	KMG管弦楽団 天田 透(フルート) 三宅美子(ハーブ) 前田幸康	
1999.9.4	藤原義久 北からの挽歌 - MAEDA のテーマと東北地方のわらべ唄による- ハイドン チェロ協奏曲ニ長調 モーツァルト ミサ曲ハ短調	李 恩球 横山 恵子 浅見 順一 水野 賢司	KMG管弦楽団 クリスフル・ヘンケル(チェロ) 前田幸康	
2000.9.10	バッハ カンタータ第68番 モーツァルト ファゴット協奏曲変ロ短調 モーツァルト レクイエム	五十嵐郁子 寺谷千枝子 大島 博 太田 直樹	東京ニューシティ管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田信吉(ファゴット) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2001.9.2	グノー 第2ミサ曲(男声合唱) (オーケストラ版編曲：番場俊之) ブラームス ドイツレクイエム	平松 英子 加賀 清孝	東京ニューシティ管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	オーケストラ版世界初演 東京大学アカデミカール共演 学習院OB混声合唱団共演
2002.8.31	バッハ ミサ曲口短調	平松 英子 竹本 節子 大島 博 加賀 清孝	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2003.9.6	*番場俊之 星の歌(合同演奏) ケルビーニ レクイエム(男声合唱) フォーレ レクイエム	蘭田真木子 鹿又 透	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	東京大学アカデミカールとジョイント・コンサート 学習院OB混声合唱団共演
2004.9.11	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	佐竹 由美 寺谷千枝子 大島 博 加賀 清孝	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2005.9.3	バッハ ヨハネ受難曲	橋本 美香 栗林 朋子 大島 博 小原 浄二 浦野 智之	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2006.9.3	モーツァルト 戴冠式ミサ曲 モーツァルト レクイエム モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス	平松 英子 永井 和子 大島 博 佐野 正一	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2007.9.1	ブラームス ドイツ・レクイエム ブラームス アルト・ラプソディ 番場俊之 アヴェ・マリア	平松 英子 寺谷千枝子 太田 直樹	KMG管弦楽団 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2008.9.6	メンデルスゾーン オラトリオ「パウロ」	佐竹 由美 横山 和彦 近野 賢一	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演 児童合唱団ムーサ共演
2009.9.13	ケルビーニ レクイエム(男声合唱) フォーレ レクイエム シューベルト ミサ曲ト長調(合同演奏)	平松 英子 鈴木 准 太田 直樹	KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	前田幸市郎メモリアル 東京大学アカデミカールとジョイントコンサート 学習院OB混声合唱団共演
2010.10.30	ヴィヴァルディ グローリア ニ長調 グノー 聖セシリアの為のミサ・ソレムニス	坂井田真実子 梁取 里 中鉢 聡 近野 賢一	東京 KMG管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演